

## 「建築系高校生設計製図講習会」・「設計製図指導者研修会」報告

製図分科会 主査 小島 聡  
(千葉県立東総工業高等学校)

開催日：平成 21 年 7 月 21・22・23 日（火・水・木）

場 所：学校法人・中央工学校 「南ヶ丘倶楽部」

- 内 容：第 1 日目 ・開講式
- ・「南ヶ丘倶楽部」施設見学
  - 茶苑（南暁）、茶室「大庵」、千ヶ滝（能舞台）、三五荘資料館
  - ・第 3 回建築系高校生対象コンペティション「工芸作家の軽井沢生活」
  - 入賞作品見学及び概要説明
  - ・フィールドワーク準備（班別行動計画書作成）
- 第 2 日目 ・ビデオ（数寄工匠 数寄屋建築に見る匠の技と精神）
- ・石の教会・内村鑑三記念堂（設計：ケンドリック・B・ケロッグ）見学
  - ・班別行動によるフィールドワーク（街並み探索）
  - ・班別行動発表会
- 第 3 日目 ・空間造形演習（角材とジャンボ輪ゴムで家をつくる）
- ・閉校式

参加者：生徒：1 都 2 県より 14 名、教員：1 都 4 県より 6 名参加



昨年度は、生徒を対象に設計製図講習会の名の下に、フィールドワークの手法を体験すると共に、他校生徒との交流を通して設計イメージの深化を図ることを目的に実施いたしました。

美味しい料理を食べたことのない人は、料理人にはなれない。「建築も同じなんだよ」『いい建築を体験したことがことがないと、腕のたつ建築家にはなれないよね、きっと』。料理のレシピは絵や写真だけじゃないだろ！コンセプト、説明、そして材料の量や調理の手順を簡単なことばで書くよね！ 建築も同じで、スケッチやドローイングだけではレシピは書けないんだ。ことばも大切なんだよ！！

今回の研修会では、昨年度の試行実施の経験をふまえて、是非先生方にも参加いただき生徒たちと一緒に活動してもらいたいと考え、設計製図指導者研修会と称し同時開催をいたしました。また、昨年同様に南ヶ丘倶楽部の協力により大変素晴らしい日本建築の数々を見学させていただきました。さらに、この研修会で知り合った他校の生徒達とも学年を問わずに交流し、意見を交わした経験は今後の活動に多いに生かされることと思います。いい建築を体験される仕掛けを仕組むことが教師の仕事ではないでしょうか。是非、定例開催ができるよう準備を進めたいと思っています。

## 立体造形演習（ジャンボ輪ゴムと角材で家をつくろう！）

## 参加者の感想

- この講習会に参加して驚いたのは、生徒達の視点の素晴らしさでした。特に2日目のフィールドワークでの写真では、日頃見落としがちで細かい所に視点を向けている所に感じました。3日目の立体造形演習でのアイディアも素晴らしいものを持って、イメージを形にしていく姿に感動しました。

この3日間の研修では生徒達と一緒に色々な建築物を見たり、考えたり行動し、日頃の授業では感じる事ができない体験をすることができました。また今後授業で参考にしていけるようにしたと思いました。子ども達の建築に対する夢を現実にしてあげられるようにしていきたいと思いました。

各先生方とも情報交換ができ、有意義な3日間でした。企画していただいた製図分科会の皆さん。そしてご協力いただきました中央工学校の皆さんに感謝いたします。ありがとうございました。（教員）



- 私の今回の目的は、コンペ作品を指導する方法を探ることでした。日常の業務の中で生徒をどのように導くかという悩みを解決する時間が全くありませんでした。しかし、場所を変え他の先生方、生徒と出会い集中して教材研究ができたことを幸せに思います。特に、間近で小島先生の指導をみられたこと、更には生徒達と一緒に取り組めたことが沢山の財産になったと思います。また、コンペ作品を指導していくうえで、建築物を沢山みることやその見方は人それぞれでありグループ行動の発表会はとても参考になりました。立体造形演習においても新しいアイディアが、より建築物に近い大ききで作り上げる楽しさや「建築」のおもしろさを伝える上でとても大切だと感じました。基本を伝えつつ、自

由な発想を伸ばすことがコンペ作品の基礎にあることを痛感できました。ご指導ありがとうございました。（教員）



- この度は、このような有意義な研修会を企画していただきありがとうございました。2日目からの参加でしたがフィールドワークでは、生徒各々の視点や感性の違いを実感することが出来ました。このような体験をした生徒は今後、普段の生活の中でも建築物を「観る」ようになるのではないかと思います。また、発表させることにより生徒自身、何が足りないか、他者に自分の考えを伝えることの難しさなど、経験から学べたのではないのでしょうか。空間造形演習では、学校での授業以外にも体験入学や、小中学校での特別講義など色々な場面で活用できる内容であることが実感できました。模型サイズでなく実物スケールのもので作りが、生徒にもよい刺激となったと思います。是非、教育現場で活用したいと思います。（教員）



- 研修2日目から参加しました。フィールドワークでは、レンタサイクル車で石の教会に行きました。学生の時以来でしたが教会の外の様子が違っている気がしました。軽井沢駅に戻りその後は班行動となりました。前日に生徒達は計画を立てており、それに従う形で行動しました。2日目ということもあり、学校あるいは学年が異なる班員もなんとなくうち解けあっているようでした。3日目に空間造形演習を行いました。今回の研修で一番興

味がありました。生徒達がどのような発想で創ろうとするのか、グループでの協力をどのように築いていけるのかが気になりました。スムーズに協力していったグループと、バラバラにスタートしてどうなることかと思われたグループが徐々にまとまっていく様子が見られて色々学ぶことができました！小中学生対象のものづくり教室で実施したら、参加者が楽しめるだろうと思いました。あるいは、授業の実習でも工夫すれば行えそうなので機会があればチャレンジしてみようと思います。2日間の参加でしたが、設計のためのフィールドワークの仕方や、空間を構成する体験を通じての学習方法等が学べて非常に意義ある研修会でした。（教員）



- この度の研修会の第1の目的は、指導者としてのスキルアップでありました。夏期休業を利用し、普段見られない建築物の見学、建築系の指導者との交流は今後の私の指導に大きな影響が現れることと思われます。中央工学校の軽井沢研修所（南ヶ丘倶楽部）は、想像以上に素晴らしい施設であり、特に茶苑「南暁」は日本建築の象徴である数寄屋造りを若い技術者に伝えたいという考えで、建設されたということで、その考え方にも深く感心いたしました。2日目のフィールドワーク、そして3日目の空間造形演習についても他校の生徒さん達と楽しく行うことが出来ましたし、内容については学校に帰って生かしたいと考えております。中央工学校の松田先生及び岡部先生、そして小島先生に深く感謝いたします。ありがとうございました。

（教員）



- 今回の講習会への参加は初めてだった。はじめは他校の生徒がいると聞いて仲良くできる気がしなかった。しかし、案外すぐに仲良く出来て良かった。1日目は、施設見学をした。茶室の広間や小間を観た。特に小間が狭いって事はよく覚えている。2日目は、自転車に乗って軽井沢の観光地をいろいろ見た。いろんな結婚式場を観て、自分が結婚式をあげるなら軽井沢でと決めた。3日目、つまり最終日は空間造形演習を行った。BD班のゆがみっぷりは最高だった。この3日間はとても楽しかった。またこういう機会があったら自分から進んで参加しようと思った。

（2年男子）



- 7月21日に軽井沢に着いたとき、とても寒くてびっくりしました。1日目は、自己紹介から始まり、敷地の中にある茶苑「南暁」を見学しました。初めて茶苑に行ったのでとても印象的でした。2日目は、朝から雨が降っていたのですが10時頃雨がやんでから「石の教会」に行きました。中に入ってみるととても気持ちが落ち着いて、とても気持ち良かったです。その他にも色々な所に行きました。自分が印象に残っているのは、「クリーク・ガーデン」というところです。その日は、日が出ていなかったのに、チャペルは電気を点けなくてもとても明るく、きれいでした。後ろの緑がとてもきれいでした。3日目は、外

で空間造形演習を行いました。2つの組に分かれて、それぞれ木や輪ゴムで様々な形を作りました。自分たちがつくったのは、とても安全で快適だなと思いました。もう一つの組は、個人個人で様々な形をつくり行き当たりばったりで形をつくっていてすごいなと思いました。全体を通して思ったのは、普段の学校とは違う環境でしかも泊まり込み、他校との交流を普段とはまったく違うところで勉強をしてとても楽しかったです。このようなことを出来るのは今しかないと思うので、このような講習を企画して軽井沢という特別な場所で勉強できて本当に感謝です。

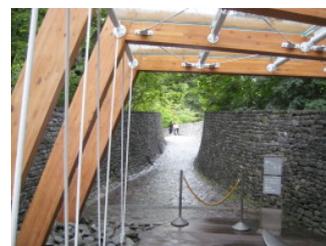
(2年男子)



- 自分は今まで軽井沢には何度か来たことがあるのですが、いつも冬でした。しかし、今回は初めて自転車で街を散策し軽井沢の街の様子を知り、とても良い経験でした。まず最初に驚いたのはとても寒かったことでTシャツ1枚ではキツかったことです。他にもいろいろありましたが、軽井沢は様式の家が多くて、和風の建物は初日しか観られなくてちょっと残念でした。でも茶室はといても立派で、その制作に関するビデオを見たらさらにすごいなと思い、興味を持ちました。軽井沢の色々な所を見て思ったのが、実際に軽井沢には何もないように感じました。アウトレットなどはたまに来るから楽しいのかと思います。だけど何もないから逆に自然を楽しむにはいい場所だと感じ、今年のコンペではそのような事を考えて設計するといいかなの思ったので、そう設計すると思います。今回はとても良かったです。(2年男子)



- この3日間を通して、色々な建物の造り方があるんだとわかりました。1日目に見た、「南暁」ではピクチャーウインドウがとてもきれいでした。景色のいいところに窓をつけることによって、家が自然と一体していてとてもいいと思いました。2日目は、始めに「石の教会」に行きました。そこでは、石でアーチを造ってあったので、どのようにして石をアーチのように造ったのかがとても不思議でした。また、教会に着くまでの道が建物がどのようになっているのかを勿体振らせる感じで、見る人達にわくわく感を与える感じがとてもいいと思いました。「クリーク・ガーデン」は建物の構造体や扉が集成材で造ってあったので、とても不思議な構造だと思ったし、今まですべて集成材で造った建物は見たことがなくて、とても感動しました。3日目は、班のみんなで空間造形演習ということで、和洋折衷様式の建物を造りました。八角形の壁や屋根をつくるのがとても大変でしたが、みんなで意見を出し合って完成することができたので良かったです。この3日間で、建物の設計や配置によって建物を見る人達に感動を与えたり、どのようにしてつくったのか考えさせることが出来るんだと思いました。この講習会で学んだ事を大学の建築学科でも生かしていきたいです。(3年男子)



- 3日間は長いようでとても短かった。建築系

高校生設計製図講習会で訪れた軽井沢の3日間はとても楽しかった。1日目は、朝の7時位から電車に乗り1時前に着いた。初めて訪れた軽井沢は、少し寒く空気が千葉とは全然違い気持ち良かった。その後、今回生活を共にするメンバーと顔合わせなどをし、外を見学してその日の予定は終わった。その夜調子に乗って一晩中起きていて2日目が死にそうになったのは言うまでもないと思う。2日目は、朝から寝不足でかなり辛かった。最初の予定では朝から自転車で軽井沢の街を回る予定だったが、雨が降っており1時間遅れての出発になった。その日一日外を巡り色々な場所を見学しとても楽しかった。3日目は、朝から空間造形演習を行った。俺たち AC 班はモンゴルっぽいになった。タイトルは「秋山式和洋折衷」である。ちなみに BD 班はオブジェみたいなものでかなり独創的だった。この3日間は、楽しくも色々と学べる素晴らしい日々だったと思った。今回の講習で学んだことをこれからに活かそうと思います。(2年男子)



- 軽井沢まで遠かったなと思う。研修所に着いたときはまずお腹がすいていた。印象に残った事と言えば、美術館の猫の絵と南暁くらいです。猫の絵は不思議な感じがしたし、変な感じもした。まずは目が気になった。振り返り何かを凝視している。猫の色と背景が同化していて、遠くから見たら猫の目しか見えない。そして次に気になったのがポーズである。そのポーズからの次のアクションが何かとすぐく気になる。「南暁」は、1日目のメイン的なものすごく楽しみにしていた。広間、小間、立礼席の三つでなる「南暁」は、中からガラス越しに見ればすべてがピクチャー

ウインドウだし、「大庵」の中は狭いのに狭苦しくはなく落ち着く狭さだった。また見たい。来年も行きたいです。(2年男子)



- この3日間とても貴重な体験の連続だったと思いました。最初はもっと勉強会みたいなのだと思っていただけ、実際に参加してみるととても楽しくてあっという間に時間が過ぎてしまいました。2日目は色々な有名建築を見て回りとてもすごいことだと思いました。自転車で回るのは結構坂道とかで疲れしました。でもそれ以上にすごい建物だらけで頑張っって自転車をこいだかいがありました。特に「石の教会」が一番印象に残りました。本当に全て石でできていてどうやって造ったのか全然想像出来ませんでした。それにその教会に辿り着くまでのアプローチも長く、そうゆう焦らす感じもいいなと思いました。自分はまだ結婚する予定は全くないですが、結婚式を挙げるならこんな所で挙げたいと思いました。その後「クリーク・ガーデン」にも行ったのですが、そこも自然の多い教会だけど石の教会とはまた全然違う印象を受けました。教会でも色々な種類の教会があるんだと思いました。だけど全ての教会に共通するのはやっぱり礼拝堂に一步足を踏み入れると外とは全然違う空気が変わって、何というか落ち着ける感じになってとても安らぎました。教会に立ち入るのは初めての体験だったので感動しました。最終日は、木材とジャンボ輪ゴムを使って建物をつくりました。感想は、単純に楽しかったです。バランスをとるのがとても難しかったりして補強を入れる場所を考えさせられたりしてとにかく楽しかったです。3日間通して普段の生活では

出来ないこと、初めてのことを体験できて良かったです。(2年男子)



- この3日間、知らない人達と過ごす軽井沢の講習会が辛そうだと思っていましたが、実際はみんなとても優しく困った時には助けてくれたなど、いい思い出がくれるほどの人達でした。その人達と過ごした日々をおおまかにまとめてみました。1日目は、三五荘や能舞台を見学しました。見学はAC班、BD班に分かれて見ました。みんなうち解けるのも早く、飯もうまかったのでこれはいけると思いました。2日目はサイクリングで様々な軽井沢の建物を見に行きました。三笠ホテル、矢ノ崎大橋、吉村山荘など有名な場所に行きました。その中でも一番印象に残ったのがすっきり便所とバケツ風呂でした。3日目は空間造形演習で、個々の作品の一つにするという良い考えが出てきて一つにした結果、「ゆがみ」という良い作品ができました。最後に良い思い出を残せて良かったです。(2年男子)



- 1日目は、南ヶ丘倶楽部の中を散策しました。三五荘や茶室、能舞台を見ました。茶室の天井が可愛くて気に入りました。2日目は、軽井沢の街を自転車で散策しました。観光会館、クリーク・ガーデン、吉村山荘、ショーハウ

ス、聖パウロカトリック教会、三笠ホテル、大賀ホールを見て回りました。「石の教会」と「クリーク・ガーデン」、 「聖パウロカトリック教会」は、どれも教会なのにそれぞれ違った雰囲気でした。「クリーク・ガーデン」のガラスの十字架、三笠ホテルの外観がとっても気に入りました。3日目は、2グループに分かれて、演習を行いました。木と輪ゴムで空間を作りました。みんな最初にバラバラでつくっていたんですけど、最終的に形になって良かったです。最後に、2日目は少し寝不足気味でしたが、いろんな建築物が見られて楽しかったし、参考になっておもしろかったです。来年もまた来たいと思いました。(2年女子)



- 今回の講習会では、1日目は館内と茶室と三五荘の見学をしました。茶室は照明が和紙でとても綺麗だったのと、細かな所の気をつかった作りがとても印象に残った。2日目は、班で軽井沢を回って多くの建築物を見て、奇抜なデザインが多くてとても興味を引かれた。特に「クリーク・ガーデン」のチャペルは他にはないデザインのもが多くて、とても楽しみながら見学できました。そして、3日目の空間造形演習では、班のみんなが命がけで協力して一つのものを作り上げて、とても疲れたけど貴重な体験ができました。この3日間で自分は多くの事を学ぶことができたので、今回のことをちゃんと生かして行きたいと思います。(2年男子)



- 「今年こそ軽井沢で建物を見たい!」と、そういう気持ちでこの講習会に参加した。昨年も軽井沢に来たのだが、ニューイースト、ニューウェストのアウトレットのお買い物で班別行動が終わってしまったので、今年は昨年より軽井沢の外の空気に触れ有名な建築物を見て、美味しいものを食べることを目標に班別行動の計画を立てた。班長になったのは良いが、少し頼りなかった気がする。私は班員と同じ身分で、皆を自由にさせたのだが班員の二人は「班長が決めても良い。逆らわないから。」と言われ、人によって考え方が違うと言うことを改めて思い知らされた気がする。考え方が違う人と上手く意見を合わせると言うことを学べたと思う。「妥協」この言葉はとても大切だと思った。私が印象に残っているのは、軽井沢の町並みだ。千葉、東京の都会は自然より圧倒的にビルの方が多い。しかし軽井沢は、家も密集している訳でなく、一軒一軒の間隔が離れているように感じた。「林がある所為なのかな?」と思う。本当に昨年は何も見ていなかったなあ。軽井沢で気温が20℃というと、肌寒い程度だ。しかし、エアコンで20℃にすると寒くてその場にはいられない。その違いは何だろう。避暑地と呼ばれているのもわかる。言葉で「避暑地」と一言聞くよりも、実際に肌で感じた方が軽井沢を知っている気がする。私は自分用のパソコンがある。ふとした瞬間に、旅に出たくなる。今はインターネットという便利な物がある。だから私は行きたい都道府県や国を入力し調べる。あっという間に写真と説明が出る。私はその地を知った気になる。今回の軽井沢の事も知った気になっていた。写真

の角度は限られている。説明も誰かが思ったままに書かれている。結局は限られた中ではなかった。現地に行って自分で感じる事の面白さを知った気がした。(3年女子)



- 南ヶ丘倶楽部での1日目は、お互いに知らないののうち解けあえるか不安でした。館内の見学で能舞台がとても印象に残りました。能を見たことはあったけど、舞台を見たのは初めてだったので見学できて良かったです。茶室は思っていたより小さい部屋で、それでいてすごい迫力がありました。2日目、班別行動では軽井沢観光会館→クリーク・ガーデン→吉村山荘→聖パウロカトリック教会→シヨ一記念礼拝堂→三笠ホテル→大賀ホールの順で見学しました。どの建物も見ただけの様なものばかりでした。一つ思ったのが、軽井沢の建物はほとんど洋風のもので、どうしてなのかなと少し疑問でした。外観を沢山見られたのはうれしかったけど、街並みを見るのを忘れてしまったので残念でした。3日目、空間造形演習では複雑な形が造れて楽しかったです。3日間通して、テレビでしか見たことのない建物が見られたので、これをこれからのコンペに生かせるようにできたらいいなと思いました。3日間とても楽しかったです。(3年女子)
- 今回の研修会は、始め他の学校の初対面の人々と会い、どうなるのだろうかと思ったが、終わってみればとても楽しかった。天気はあまり良くなく雨・霧だったがとても充実した3日間だった。1日目、初対面の人といきなりグループを組まれ、どうなるのだろうと思ったが館内巡りなど、団体行動をしているうちに自然に話す機会が増え、一日目にして仲良くなれた。2日目、軽井沢の街をグルー

別にフィールドワークに出て、色々な施設見学をしてやっぱり地元とは違う雰囲気と現地でしかわからない事が沢山あって、ほんとうに来て良かったと思った。3日目、みんなと別れる日が来たことにちょっと残念であった。しかし、最後の空間造形演習というイベントでこの貴重な3日間で感じたこと、得たものをなんかの形にしたいとの思いで、頭の中のイメージを必死で形にした。この建てた物を含めた色々な物を写真やスケッチだけでなく、思い出という形で心の中に残ったものは、自分の人生の中でかけがえのない財産になったと感じた。是非来年も参加したいと思う。(2年男子)



- 軽井沢に来る前は、まだ見ぬ仲間達との生活に不安を感じ、鬱になりかけたこともありましたが、初日の夜にはもうウノや大富豪を通じてうち解けることができたので、この3日間をとても楽しく過ごすことができました。

軽井沢に来て最初に抱いた印象は、「寒い」と「広い」でした。「寒い」というのは、軽井沢が避暑地だということを忘れて薄着で来た自分が悪いのでしょうか。天気が悪かったのもあったと思います。「広い」というのは、おそらくそれまで狭いバスに閉じこめられていたので余計に感じたのでしょう。1日目の「茶苑南暁」と「三五荘」の見学では、日本の昔の建築技術の高さを知り、その美しさと精密さに鳥肌が立つほど感動しました。特に計算されたピクチャーウインドウの数々には見習うべきものが多くあると思いました。2日目の見学で一番印象に残った建物は、「石の教会」でした。あの美しさには、何か神秘的なものを感じました。3日目の「空間造形演習」では、仲間達と協力して一つの物を作り上げるという体験をすることが出来、とても充実した時間を過ごすことが出来ました。この3日間の体験を通じて、僕はまた一つ成長することができたと思います。とても楽しく充実した3日間でした。(2年男子)



昨年度の反省を踏まえ、今年度は3日間の日程で実施いたしました。更に、自分たちが見学した建物を参考に、共同して空間造形を行うプログラムも試みましたが、この活動の中で生徒達のイメージを形にしていく姿は大変興味深い物を感じることが出来ました。生徒達は、見事に私たちが望む姿に手に近づき、また、意識を高める事が出来た研修会であったと自負いたします。また、同じプログラムを教員も同時に行うことにより、生徒達の視点の素晴らしさを改めて実感すると共に、生徒の活動を観察することから新たな指導者に求められる視点の発見ができた研修会でもありました。

今後も、生徒の研修活動を支援する体制と研修内容を整備すると共に、指導者の育成に寄与できるよう製図分科会委員一同研究を深めたいと思います。皆さんからの忌憚のないご意見をお聞かせいただきますようお願いいたします。

最後に、今回は南ヶ丘倶楽部の全面協力により、価値ある建物を見学させていただく機会を得られたことは、生徒たちの今後に大いに役立つことと確信します。知的好奇心を刺激された生徒達は、より創作意欲や発想力を駆り立て活躍することとしたいと思います。南ヶ丘倶楽部関係者の皆様に感謝申し上げますと共に御礼を申し上げます。今後ともご支援ご協力いただければ幸いです。

